



国鉄新潟

NO. 760
 発行 12・6月27日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者 関川 和彦
 編集責任者 教 宣 部

偽装・労働強化になっている

第1回検修外注化対策会議が6月16日に開催されました。矢部執行委員の経過報告の後、各職場から現状・他労組の動きなど問題点について報告がありました。



各職場からの報告

10月1日から実施すると提案を受けている。規模はどうなるかわからないが、出向に対しての人は現場でやっていく方向だ。出向期間が3年だが、各職場で状況が違つので、戻る職場が無い場合がある。新車の導入される職場は、技術継承のため、交換・機動班が委託されない。

委託社員についての作業支持は助役が可能。指示ではなく作業打ち合わせだと言っている。信号担当は委託されないのではないかと。事故や異常時の対応について委託社員に対しての指示はどうするか。

現在の委託会社では、点呼で10月1日に6名が出向されてくると話している。まだ決まっていけないのに。他労組について、どの組合も乗務員が多いので外注化に対して危機感が無い。

技管・機動班・交換が若干残るのでは、10月1日に実施されるが内容が具体的にわからない。他労組は要求を出して上部機関に上げている。



出向期間が3年、若年出向もある。一般の転勤と同様に実施する。国労は50歳以上が多いのでエルダーに近い。エルダーで出ることを考えると、良いのか悪いのか判断が難しい。

緊急対策会議 各職場からの報告

現在、作業上で偽装が発生している。エルダー社員は作業服が着ている。



委託・外注化の見直しについて具体的に、鉄道整備について検修業務以外はさせないと言っているが、プロパー社員に対して手当てが無くなる。検修業務が出来なくなる。

偽装請負、関連会社と一括で脱線復旧訓練をやっている。

助役・技管しか残らない。監督者、監督補助者をどうしていくのか。EL・DLは特殊車両になるのか。ECのトイレの故障が頻繁に発生している。修繕は鉄道整備が担当している。技術者がいないので修繕は直営に戻した。

冬季体制、除雪作業が厳しい状況だ。外注できるのか。他労組との情報交換はある。貨物からの出向者について個人面談を実施し希望を聞いている。

あいあいフェスタ

新潟の働く仲間たちの祭典
 7月15日(日)11時~15時
 新潟駅南口広場

多彩なブースがあります。
 飲み物屋台 食品の販売
 手作り工芸品
 労働相談・弁護士が悩みを解決
 ステージでは、歌・フラメンコ・ヒップホップダンスなどさまざまなライブがあります。
 詳しくは地本まで~

貨物からの出向社員について委託化によって解除となる。鉄道整備への出向は可能なのか。

作業指示について偽装請負になっているのではないかと。新幹線の車両が解体されている。新しく車両が導入される。それによって清掃作業が忙しくなっている。(2階建て車両)

鉄道整備の管理者は出向について具体的にわかっていない。助役も出向されるが助役という職名は無い。



10月1日に委託化、現在出向している社員は飛ばされるのかの質問に対して具体的にわからないと言っている。技術のある社員から出向と考えている。

裏面に続きます。



質疑・討論

出向期間について年齢的にエルダーに近い場合延長はできるか？

出向期間は3年が原則・個人の希望など年齢的に延長もある。希望を尊重、要望は受け止めていく。

偽装請負が発生している

偽装はさせない。改善させていく取り組みを進めていく。職場で議論し話し合い意思統一をしていく。違法行為は直していく。作業に支障は発生するが、させない取り組み。

施設外注化の見直しについて、保線・電気の委託が実施、その後見直しされている。ポイント検査を直営に戻す。設備メンテで細かく基地があつたが見直しがあり廃止となった。会社施策が絶対ではない、問題点は改善させ、委託が直営に戻る。

検修外注化、車両はJR、人間は外注化、業務委託の拡大に歯止め、技術力を継承していく。問題提起をしていく。

DL ELについてDLを一部残す。(郡山・秋田)。ELは残すと云っていない。



検修外注化対策会議は緊急にも関わらず各運転職場から出席がありました。3時間の短い時間でしたが各職場から多くの問題点・実態が報告されました。



これから支社提案となっていくますが職場の問題点・要求を全体の議論で出して、団交に臨んでいきたいと考えています。

矢部執行委員の説明でもありましたが、検修社員5000名のうち1500名が出向対象になっています。今までに無い外注規模です。

委託会社をひとつでも少なくし外注社を直営に戻す取り組みを進めていきたいと思います。委託になって問題点が多く発生しています。その問題点を改善していくには、直営に戻すことが一番の解決策だと考えます。



今後の取り組み

支社団交は、7月1日以降になる。職場要求・問題点について要求を地本に上げる。

団交について、各職場からの要求については、各分会・職場代表の出席で団交に臨む。

職場によって、委託内容が違っている。職場内の情報を収集し要求の前進を図る。

10月～11月に個人面談が予想される。要求は具体的に示していく。

偽装請負は許さない。出向先の労働条件の改善、JRと同等を目指し実現していく。

今回の対策会議は、状況を判断し設定していく。

山脈集推薦作品

木下 肇風 選

越後のままで新世紀の水	大村 芳子	牛舎を引く徳打ののい男	鈴木 朝芳
やわらかい風にジョージを乗せようか	中山 敏子	山門を山と丸太にすくぬき	河本 春雄
オウムの穴から這い上がって来る鹿	野村 福彦	大瀬島集村集村のこころ	石原 節子
どう転んでも一山は崩されぬ	梶野 正二	川辺の石コロコロと段々	上田 丁蔵
林より 本宮もする御免あり	舟橋 元功	日があつたばかりで夢中になっている	神 尾 昌宏
生る井もコップの中のおまじこと	古野 和夫	船倉に集まるこの東に雨	丸山 都 穂
母の懐かし一週に輝けし	高橋 純子	思い出して大犬の牢獄かめろ	中山 雲 竹
暖炉にたむろきと生きていく	田中 芳子	夢が大人ですとは、きりぎりすとおく	高岡 真 梨
砂法庫しと閑地にならざる	藤山 マコ	二枚羽を舞うてはならぬ	藤 野 利 水

文芸コーナー

今回の文芸コーナーは、「鉄道川柳」平成13年3月号です。地本の機関紙「国鉄新潟」で、このコーナーを継続、連載していきたいと考えています。なかなか、地本編集体制についても定期的な編集委員会を開催していませんので記事が定期的に集まりません。組合員のみなさん・そして退職者のみなさんからのご意見、地域の活動や趣味・スポーツなどいろいろな活動を地本教習部にお寄せくださいます。よろしくお願いします。

編集後記

今号も検修外注化について特集しました。エリア本部の矢部執行委員の経過報告は、とてもわかりやすい説明でした。各職場からも、たくさんのお話や意見が出されました。闘いはこれからです。頑張ってください。6月も下旬になりました。来月は7月ですね。夏本番になっていきます。今年の夏も猛暑になるのでしょうか？ 今年はピヤガーデンと考えている方もいるでしょう。豪快に生ビールを飲みたいものです。

